

「アジア・スマートシティ会議宣言」合意

ー アジア 11 都市により、持続可能なスマートシティに向けた宣言を世界へ発信 ー

本日、アジア諸都市における豊かな都市生活と持続的なグリーン成長を目指し、低炭素化社会に関する先見的なビジョンや先進的な技術を共有するため、「環境未来都市」横浜において「アジア・スマートシティ会議」を開催しました。参加したアジア 11 都市により、「アジア・スマートシティ会議宣言」を取りまとめ、参加都市を代表して横浜市長がパシフィコ横浜会議センターメインホールで国内外に向けて発表しました。

1. アジア・スマートシティ会議

- (1)開催日時 平成 24 年 10 月 31 日 (水) 9:00~12:00
- (2)場 所 パシフィコ横浜会議センター 5 階 503 (横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
- (3)主 催 横浜市
- (4)参加都市等
アジア 11 都市：バンコク市 (タイ王国)、セブ市 (フィリピン共和国)、コロンボ市 (スリランカ民主社会主義共和国)、
ダナン市 (ベトナム社会主義共和国)、北九州市 (日本)、マカッサル市 (インドネシア共和国)、
マカティ市 (フィリピン共和国)、ペナン市 (マレーシア)、スバ市 (フィジー共和国)、
ヤンゴン市 (ミャンマー連邦共和国)、横浜市 (日本)
国・国際機関等：日本政府、J I C A、世界銀行、アジア開発銀行、国際連合工業開発機関 (UNIDO)
アドバイザー：バルセロナ市 (スペイン)

2. アジア・スマートシティ会議宣言

- (1)宣言日時 平成 24 年 10 月 31 日 (水) 14:00~14:20
- (2)宣言場所 パシフィコ横浜会議センターメインホール
- (3)宣言方法 参加都市を代表して横浜市長から宣言
- (4)主な内容
 - ・経済発展と住みやすく持続可能な社会を実現するためのスマートシティ構築が重要である。
 - ・参加都市は、多様な文化と歴史を有する各都市の状況にふさわしいスマートシティの実現に必要な不可欠な示唆を受けた。
 - ・今後も関係国際機関とともに定期的に本会議を開催し、アジア都市間の協力関係を強化する。



主催者挨拶をする林市長
〔アジア・スマートシティ会議〕



参加都市と宣言文を発表
〔アジア・スマートシティ会議宣言〕

※画像をご希望の方はご連絡ください。

裏面あり

アジア・スマートシティ会議宣言（日本語訳）

日本政府から「環境未来都市」のひとつとして選定された横浜市は、アジア諸都市における豊かな都市生活と持続的なグリーン成長を目指して、低炭素化社会に関する先見的なビジョンや先進的な技術を共有するため、アジア・スマートシティ会議を開催しました。

この会議は、2012年10月31日、横浜市において、バンコク市、セブ市、コロンボ市、ダナン市、北九州市、マカッサル市、マカティ市、ペナン市、スバ市、ヤンゴン市、横浜市の代表者が参加して開催されました。

参加都市は、経済発展を遂げ、住みやすく持続可能な社会を実現するために、再生可能なエネルギーの活用や、スマートテクノロジーを導入した防災、水供給、排水処理、廃棄物処理、都市交通システムなどの社会基盤整備を進め、スマートシティを構築していくことが重要であるとの共通の認識を持ちました。

この会議は、アジア新興国の都市課題解決に有意義な役割を果たしている日本国政府や国際関係機関にもご参加いただき、参加諸都市は、多様な文化と歴史を有するそれぞれの都市の状況にふさわしいスマートシティを実現していくために不可欠な、数多くの有益な示唆を受けました。

参加諸都市は、「アジア・スマートシティ会議」を契機として、都市間相互の協力と連携をさらに深めていくため、今後も関係国際機関とともに、定期的にこのような会議を開催し、アジア都市間の協力関係を強化して、スマートなまちづくりを一層進めていくことで合意しました。

2012年10月31日

参加都市を代表して
横浜市長 林 文子

お問い合わせ先

温暖化対策統括本部 企画調整部 プロジェクト推進課長 名倉 直 Tel 045 - 671 - 2636
政策局 共創推進室 国際技術協力課長 近藤 隆 Tel 045 - 671 - 4393